



優しく遅く

令和 7年 6月 26日
市川市立第六中学校
校長 河合 滋



温故知新 ～友と世界を知る～



6月20日（金）～22日（日）3年生が修学旅行に行きました。京都市内の班別行動、大阪・関西万博の見学、漆器の加飾体験、クラスごとの京都見学等、とても充実した3日間でした。

古都京都の歴史や文化に触れるとともに、万博で世界と未来を感じることができました。また、学校とは違う友達との関わりの中で、より学年の絆が強くなったと思います。普段、学校では学べないたくさんのこと学び、かけがえのない想い出を作れたことでしょう。



いつも読みかけの本を

「今、あなたはどんな本を読んでいますか？」
読書は知識や教養が身につくだけでなく、
集中力が増し想像力を養うことが出来ます。
さらに心が豊かになる素晴らしいものです。

六中では、今年度の学校経営の重点に読書活動の推進をあげ、
朝の始業前に全校で読書に取り組んでいます。読書の量や速さは
人それぞれ構いません。いつも読みかけの本が身近にある生活
を送りましょう。そして、面白かった本は友だちに紹介してくださいね。



総体・コンクールに臨むにあたって



A君とB君は、総体で県大会に出場するために、様々な事を我慢し、厳しい練習にも耐え、大会に臨みました。市内大会、A君の結果は2回戦敗退。絶望感、喪失感で一杯となりました。一方、B君は見事、優勝して県大会の出場権を勝ち取りました。達成感と充実感で一杯です。2人の感動レベルは、A君はマイナス（-）100、B君はプラス（+）100です。では、A君の努力は無駄で無意味なものだったのでしょうか？

皆さんは数学で『絶対値』を習いましたね。『絶対値』は0を基準として、そこからの距離。つまり、-100も+100も絶対値は「100」で同じなのです。つまり、大きな喜びと大きな悲しみは、同じ絶対値であるということです。絶対値はそこまで積み上げてきた時間や努力によって、その大きさが決まるのです。試合では勝ち負けがつきますが、その積み上げた思いの絶対値は勝ち負けに左右されることはありません。逆に、あまり努力もせず、軽い気持ちで大会に臨んだ人は、絶対値が小さく、勝っても+10、負けても-10ということになりその絶対値は「10」にしかならないのです。つまり、大切なことは、たくさんの努力をし、絶対値を蓄えて試合や大会に臨むことなのです。そうすれば、結果はどうであれ、大きな感動が得られるはずです。



5年後、10年後振り返った時には、勝っても負けても感動の思い出は、全く同じ価値になっているはずです。結果を恐れず、思い切って大会やコンクールに臨んでください。頑張れ！六中生!!

SNS 安全講演会



6月13日（金）市川市少年センター職員による講演会を実施しました。スマートフォンは大変便利ですが、誤った使い方をすると、人を傷つけたり傷つけられたりします。また、知らないうちに事件に巻き込まれてしまうこともあります。

子どもを犯罪やトラブルから守るために、保護者の方も一緒に使い方を確認しておきましょう。

千葉県警察ホームページ
子どもを守るために（保護者向け）



校長室で給食を



校長室で生徒と給食と一緒に食べる「ランチミーティング」を始めました。給食と一緒に食べながら、学校生活のことや部活のこと、先生のことなど話をしました。話題は何でもOKです。

1回目は、生徒会本部役員と会食しました。生徒の本音が聞けて、楽しい時間でした。次は、誰が招待されるか、楽しみにしていてください。

※学校ホームページには、普段の学校の様子を毎日発信しています。また、緊急時の連絡の手段として情報発信することもあります。表題上部のQRコードからご覧ください。

文責 校長